

平成 29 年度病害虫発生予察特殊報第 3 号

平成 29 年 11 月 7 日
静岡県病害虫防除所長

1 病害虫名 和名 トビイロシワアリ (アリ科フタフシアリ亜科シワアリ属)
学名 *Tetramorium tsushimae*

2 発生作物 カンキツ

3 発生経過及び状況

平成 29 年 8 月に県西部地域のレモン園地において、葉や新梢にアリの寄生と被害を確認した。さらに 9 月に同レモン園地、10 月に県中部地域のカンキツ園地 (計 2 ヶ所) において、主幹地際部にアリの営巣と被害を確認した。

採取した働きア리를農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼した結果、トビイロシワアリであることが判明した。

4 被害

定植後 1、2 年程度の苗木及び若木において、主幹地際部に土を盛り、樹体表皮を食害し、くぼんだ食害痕を形成する (図 1、2)。被害が進むと外皮が帯状に削り取られた食害痕となる (図 3)。甚だしい食害を受けた樹は、落葉し、枯死する場合がある。

また、葉や新梢を食害したり、新梢が折れたりする場合もある (図 4、5)。

なお、成木では本種による被害は確認していない。

国内ではキャベツ、ブロッコリー、ナス等において本種の被害が報告されている。

5 特徴

(1) 分布

国内では北海道、本州、四国、九州、対馬、屋久島に分布し、西南日本では普通にみられる種である。海外では中国、極東ロシアに分布する。

(2) 形態

働きアリの体長は 2.5mm 前後 (図 6)。体色は褐色から黒褐色。頭部の表面はほぼ平行に縦走するしわに覆われ、胸部のしわもより不規則ではあるが縦走する。また、フタフシアリ亜科は腹柄が 2 節みられる。

(3) 生態

比較的乾燥した場所を好み、日当たりの良い裸地や植物の根元、石下などに営巣する。巣の規模は大きく、一つの巣に多数の女王を有する。

雑食性で、昆虫、雑草の子実や発芽直後の芽、植物の甘露、樹液などを摂食する。

6 防除対策

(1) 平成 29 年 11 月現在、本種に対する登録農薬はない。

(2) 深耕やかん水による巣の破壊など、物理的・耕種的防除に努める。

(3) 深植により接ぎ木部が土中にある場合は、土を掘り、接ぎ木部を露出させる。

(4) 本種と疑わしい個体及び被害を見つけた場合は、病害虫防除所に連絡する。



図1 カンキツ主幹地際部にできた営巣による土の堆積



図2 食害によるレモン主幹地際部のくぼみ



図3 レモン主幹地際部（土中）における甚だしい食害痕



図4 レモン葉における食害



図5 レモン新梢での食害



図6 成虫（働きアリ）体長約2.5mm

問い合わせ先： 静岡県病害虫防除所

TEL. 0538-36-1543